

## 沿岸地域の関係団体等との意見交換の概要について(速報版)

### ■開催状況

- 1 開催日時及び場所
  - 平成 23 年 6 月 2 日 (木) 久慈会場、宮古会場、山田会場
  - 平成 23 年 6 月 3 日 (金) 釜石会場、大船渡会場
- 2 参集者
  - 農林水産業、商工・観光業、建設業、医療・福祉、教育等各分野の代表者  
(各会場 10~20 名)
- 3 議題
  - 県復興ビジョンについて

### ■主な意見等の概要

#### ■□■久慈会場 (6 月 2 日) ■□■

##### 《安全の確保》

- 防潮堤で防ごうとすれば今の 2.5 倍の高さが必要ではないか。大型港湾からの水門も必要。
- 建物が丸太で壊された。**丸太置場を高台に移転**できないか。
- 病院や介護施設、役場など**緊急的な電源を確保する必要がある施設**には、ソーラーや風力発電など、**普段から使える電力供給施設の配置**を考えて欲しい。

##### 《暮らしの再建》

- 近隣の**空き住宅を修繕**すれば、**安価に仮設住宅として利用**できるのではないか。
- 被災者をいわゆる「**有給のボランティア**」として雇用しているが、**雇用期間の延長**をお願いしたい。
- **社協の備品(ベッドなど)**が震災対応で足りなくなっている状況。支援をお願いしたい。

##### 《なりわいの再生》

- 漁協の加工場を仮設で建てたいので**建築規制のデータなどを早く市町村に示して欲しい**。漁期に間に合わないと、来年まで 1 年間棒に振ることになる。
- **二重債務問題の解消**について、県は**地方銀行に対して支援を強く要望**すべき。
- **県から貸与された施設**が津波で流された。**その借金の返済について免除**をお願いしたい。
- 観光産業の落ち込みがひどい。**水産業の復興が観光の復興に結びつく**と思うので、水産業の復興をお願いしたい。

##### 《その他》

- 県北と県南では被災状況が異なるが、県の計画は沿岸を 1 つとして考えるのか。
- 被災した建築物のうち**各省庁の公共事業で建設**したものについて、**部局横断的な調整**を行い、**用途に応じた建物の復旧**をお願いしたい。

#### ■□■宮古会場 (6 月 2 日) ■□■

##### 《安全の確保》

- がれきの処理は進んでいるが、**災害廃棄物の処理にかなりの時間**がかかる。我々として

は、復興の障害となる廃棄物を他のところに持って行って欲しい。

- まちづくりデザインの津波防災の分類図をみると、**回避型では、津波の高さがあがるような対応に見えるが、これで大丈夫なのか。**
- **コンパクトなまちづくりに賛成。** どのような**地域づくり**を行うかについては、**住民の意見を十分に聞いて欲しい。**
- **低い土地で暮らしていけるのかについては、誰が決めるのか。**それが決まらないと、やる気はあっても何もできない状況である。
- **復興道路**については、**5年で全線開通に全力**を挙げて欲しい。復興道路の地図を見ると、**花巻―釜石間の進捗が1/3**なのに比べて、**宮古―盛岡間は全然進んでいない。**ここを国直轄の道路として、早急に整備してもらいたい。

#### 《暮らしの再建》

- まちの被害は甚大であるが、あわせて**住民の精神的なストレスも甚大**である。そうした部分をカバーするような取組をお願いしたい。

#### 《なりわいの再生》

- まずは、**漁協中心の水産業の復興を位置付けていただき、感謝**している。沿岸漁協はこれからが大変と考えている。実際、タラを水揚げしても加工業者がいないため、価格が大幅に下落して困っている。
- **ワカメは7月にタネ取りをしないと来年採れない。来年採れないとなれと漁業をやめてしまう人がでる。**それを考えた計画となっているのか。また、漁師には作業小屋や倉庫など広い土地が必要となり、**いつまでも共同利用でいけるのか疑問**である。
- 漁業に比べて被害が小さいが、**農地、器具、施設等に被害**があり、大きな投資が必要な状況である。
- 業務再開に向けて始動したいが、**地盤沈下の再生はしてもらえるのか。**防潮堤や避難場所等の整備と同じくお願いしたい。
- **経済をただ戻すだけではだめで、従来以上に上げる必要がある。**
- **商店街を復帰させても、高齢者が多い地域では、交通弱者が多く、買い物に行けない**こともあるのではないか。
- 一次、二次産業とともに、**観光についても金融支援等**をお願いしたい。また、**観光についてはプラットフォーム化**という話もあるが、どのような進め方となるのか教えてほしい。
- **観光施設のあり方として、今のように海のそばにいいものか悩んでいる。**
- **複数の省庁が観光には関与しているが、ソフト施策がさっぱりない。**避難道路を含めて横断的に進めて欲しい。

#### 《その他》

- **国・県・市町村の政策決定が一气通貫できるシステム**が必要ではないか。県・市町村が連携し、国と調整する必要がある。
- 原子力は衰退するので、代替エネルギーとして**液化天然ガスの火力発電所を設置**して欲しい。そうすれば、港湾の利用にも寄与する。

## ■□■山田会場（6月2日）■□■

### 《安全の確保》

- **グランドデザイン**については、第1期推進期間において、**どうサポートし、これを現実の動き**にしていくのか。
- 堤防の効果があったと知っているが、**堤防があるがゆえに避難しない人がいるなどマイナスの要因**もあったのではないか。
- 市場で荷積みしている車が、津波警報がなってから堤防を抜けるまで時間がかかる。船も警報がなってからでは沖に出られない。市場としては、車や船を捨てて逃げろとはいえないので、**堤防を抜けられるような工夫**などをして欲しい。
- 命に勝るものはないので、それはしょうがないのではないか。むしろ、そうした際に対応できる**保険等のセーフティネットの構築**が必要。
- いま、沿岸は津波に対して丸裸の状態にあるのに、**県や国の対応は遅れていると感じる**。**防潮堤・ソフト対策をどう考えているのか**。多重防災の整備などもあまりお金のかからない方法があるので、補正予算の前でもできることはやって欲しい。

### 《なりわいの再生》

- 山田町は水産の町であることから、漁業の復興無くして町の復興はない。**一日でも早い漁業の復興**をお願いしたい。
- 工場の準備をしたいが大工や資材の手配が難しく、困っている。**もう少し早い復興の方法はないのか**。
- **経済活動ができるような進め方**をお願いしたい。また、計画については、市町村と十分に調整して欲しい
- **二重ローン問題**についての進捗状況はどうか。また、**今後の見通し**を教えてください。
- **二重ローンのファンド設立**とあるが、これは**株式会社のみが対象**なのか。また、**観光の事業**についても応援して欲しい。
- **スーパーマーケットを8月1日にオープン**するよう準備を進めているところ。**大工が集まらず**、北海道から連れてくることも検討している。新店舗では魚用のスペースを大きくとることを考えており、**一日も早いなりわいの復旧**をお願いしたい。

### 《その他》

- この計画をしっかりと進めていただきたい。
- **船越にくじら館**があるが、これを災害資料の蓄積などのアーカイブセンターとして活用できないか。

## ■□■釜石会場（6月3日）■□■

### 《安全の確保》

- **地盤沈下している港で船を停留**できるようにしてほしい。
- **農地について土地利用計画に反映**してほしい。**農地転用の手続を簡略化**してほしい。

### 《暮らしの再建》

- 教育について、**被災した先生もいるのでサポート**をお願いする。
- 避難所になっている**学校施設の機能の早期回復**をすべき。

### 《なりわいの再生》

- わかめの養殖について、今始めないとタネがとれない。7月末までに施設ができないと2年間棒に振るし、人がこの地からいなくなってしまう。早期の支援が必要。
- 釜石市場の修繕費が約2億2千万円であるが、県と市でより多く支援してほしい。
- 水産業の計画等において市と町の計画が横断的になるよう調整してほしい。
- 水産業も大事だが、農業も大事。農地の集約化を図るべき。
- 青空市場（仮設店舗）の設置について配慮願う。
- 二重債務の解消について、「既存債務の解消」と「新しい融資」は同時に、若しくは「既存債務の解消」を先行すべき。国で予算措置されない場合、県単独でやる覚悟があるのか。
- いろいろな補助金の適用時期について、4月1日に遡及してほしい。

#### 《その他》

- 復興ビジョンを考えるに当たり、縦割りでない復興局のようなマンパワーを現地に置くべき。

### ■□■大船渡会場（6月3日）■□■

#### 《安全の確保》

- 高所移転について、浸水した被災した土地を国・県で購入すべき。
- 防潮堤が現在海拔ゼロメートルなので応急復旧すべき。
- 三陸縦貫道を早期に整備することが必要。
- 迂回路としての林道も機能するので、緊急に整備すべき。
- 農地転用の手続の緩和をお願いしたい。
- 農地を宅地化すると、中山間地域の直接支払や、ほ場整備の補助金の返還の問題が生じるところなので何らかの手当が必要。

#### 《暮らしの再建》

- 学校が避難所になっている。学校の「教育」をおろそかにすべきでない。
- 通学路になっている45号線に防犯灯を設置してほしい。
- 商店等の仮設の共同店舗について配慮を願う。
- 医療機関が壊滅状態。住田病院が空いているので仮設の病院として使えるよう検討すべき。

#### 《なりわいの再生》

- 漁船が停留できる環境づくりをお願いする。
- 魚つき保安林を解除し漁協の拠点施設を整備できないか。
- 県管理・市町村管理漁港のがれき（船舶）を一括して処理できないものか。
- 合板工場が被災したので早期復旧のための支援が必要。
- 企業用地のあっせんをお願いしたい。
- 耕地、揚水場等が壊滅したが、今後どのように対応すべきか。復旧に伴う受益者負担の支援をお願いできないか。

#### 《その他》

- メモリアルとしての建物等の現物の保存をすべき。
- 避難所になる所に毛布や発電機等、必要なものが準備できていないので対策が必要。
- 防災大学の誘致も検討すべき。